

日本のヤクザ

加太 こうじ



大和選書 3

加太こうじ

1918年東京浅草に生まる。
少年時代より紙芝居の作画
に従事し、紙芝居生活28年
ののち著述業に転ず。
太平美術学校卒。
思想の科学研究会々員。
著書に「落語」現代教文庫
「ふたりの昭和史」文芸春
秋新社、他がある。

日本のヤクザ (大和選書 3)

¥350

1964年12月20日 第1刷発行

著 者	加 太 こ う じ
発 行 者	大 和 岩 雄
発 行 所	だい わ 大 和 書 房

東京都中野区松が丘 2 の31

電話 (952) 1 3 7 1 ~ 3

振 替 東 京 6 4 2 2 7

製版・日放印刷 印刷・東光印刷 製本・誠幸堂

(検印略)

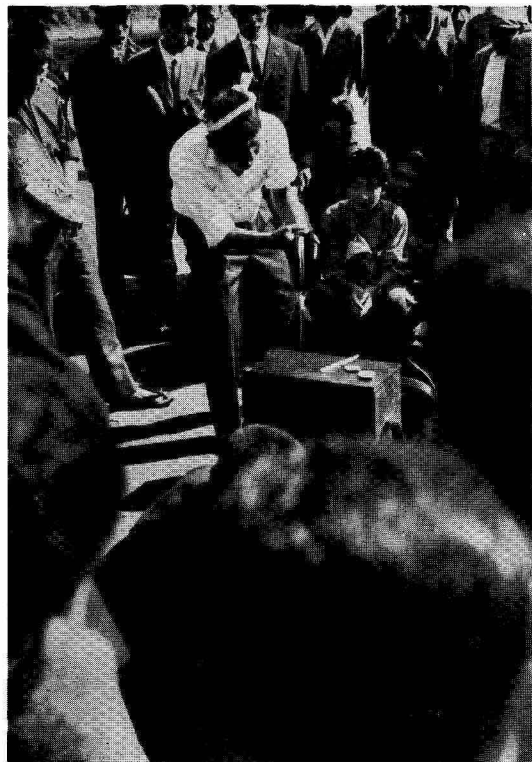
落丁本、乱丁本はお取替えます

日本のヤクザ

加太 こうじ



大和選書 3



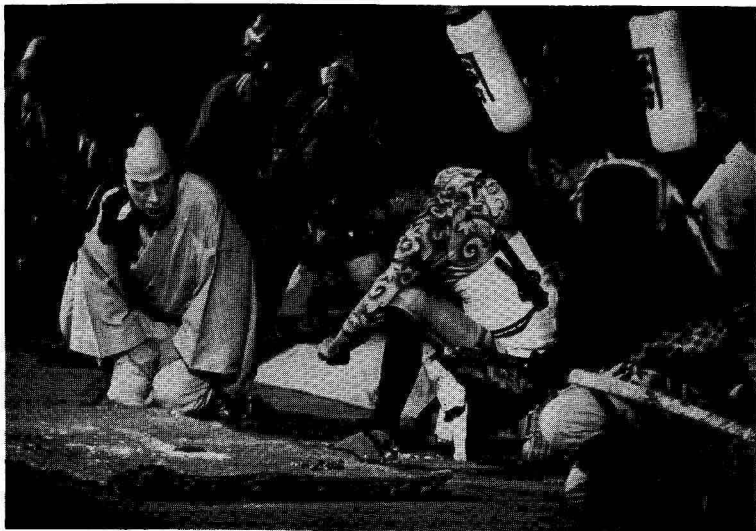
蛇をあやつり口先ひとつでインチ
キ薬を売る大ジメ師——テキヤの
代表的な「商売」である。



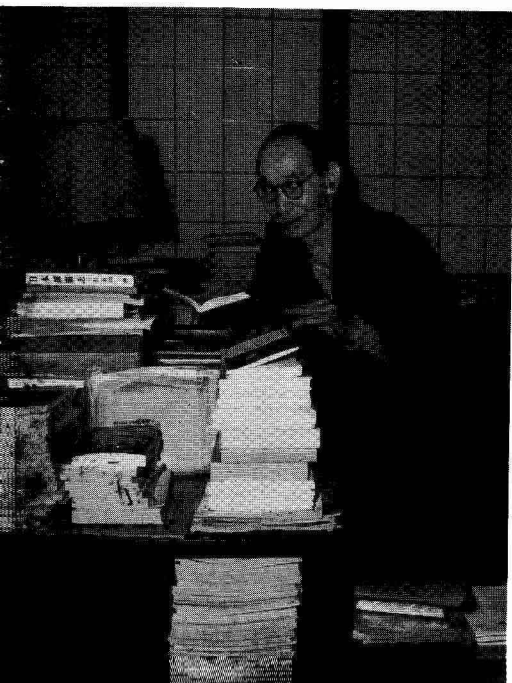
浅草六区に近い露店街——先ごろ
までは某親分のナワバリ下にあっ
て暗いカゲもおとしていた。



公営賭博は大繁昌——庶民のフトコロからテラ銭をまきあげる都道
府県のお偉方は、さしずめ現代日本の大胴元？（東京競馬場にて）



新国劇は義理と人情の世界を描いて庶民の感情と呼应しながら日本的なヤクザ観を確立する大きな柱となってきた(子母沢寛原作・「紋三郎の秀」の一場面)



長谷川伸——人間を愛し、特異なヤクザ物を書き続けた国民的作家



歌に、映画に、芝居に、……ヤクザ物は拡っていく(忠治旅日記を演じる大河内伝次郎)

目次

ヤクザの世界

ヤクザ——その名称の由来……………二六

見分けにくいヤクザの種類 迷惑者は八九三のブタ

博徒——どこからやって来たのか……………二八

テラ銭を取って生活する者 サクラ役の控えブチ 一匹

狼の向うブチ 記録に残る最初の博徒・幡随院長兵衛

都市建設が博徒を生む 江戸時代末期に忠治や次郎長が

登場 商品生産の奨励と貨幣経済の発達 幕府の衰退と

ともに博徒が発生する 農民の不満が一挙に爆発 幕政

をゆるがした大一揆の数々 富は大商人の手に集まる

武士の財布は日ごとに窮乏 文化面にも町人が進出 田
沼の悪政と民衆の反抗 ついに黒船の渡来 現代に残る
博徒と政治権力の結合

テキヤとグレン隊——どう生きているのか……………

日本中の興業を動かす力 コロビとサンズン 偽ゾリン
ゲン売り 壊れ時計に金メッキ 絶対ぬけないガラスの
知恵の輪 ニメートルの布を三メートルに見せる 泥だ
らけの万年筆売り 古雑誌を新本に見せる 傷ものの玩
具売り 偽物で罪を免かれる ガマの油売りの仲間 ト
レード・マークは大学生スタイル 賭ければ必ず取られ
る 「手品」にひっかかる ヤラズ、ブッタクリ主義
「おひかえなすって……」の仁義が通用する世界 野武
士に発した根無し草 博徒、テキヤの凋落と新興ヤクザ
の抬頭 博徒でもテキヤでもないヤクザの総称

ヤクザの心理——意志の弱さと反社会性……………

博徒、テキヤ、グレン隊の掟と用語の共通性 貧困家庭
や不安な社会がヤクザを生み出す あくまでも現実的な

利益を求める

ヤクザと私

よき時代の粋な鳶職人——はじめて出会ったヤクザ……………三〇

紙芝居稼業で知ったヤクザたち 満五才にして花札を覚える 白くやわらかい手をした鳶職人 ケンカに勝って一躍売り出す 小唄から義太夫まで教え込まれる ヤクザの享楽観と平等観 息子には、戦死され故郷の土となる

戦争と貧困の犠牲者——劣等意識でグレた弟……………三六

崩壊していた家庭 勉強を嫌って紙芝居の売り子に 月収三〇円の印刷工になる グレン隊に囲まれた生活 賭博に負けて三〇〇円も借金 喫茶店での出会い 手錠のまままで惨死 大男であるという劣等感 薄幸の母の死と銀造 警官の非道に対する怒り 銀造の哀しい死 封建制と貧困と戦争の犠牲者 残した日記に見る優しい心

ヤクザの中のヤクザ——紙芝居稼業で知った「本物」……………六八

満警あがりの紙芝居屋の親分 手入れを受けて逃亡生活へ 逃げるよりいっそ警官に 世間知らずがグレイン隊に 思索的ではテキヤになれぬ 折り目正しい二人の俠客 教育的、芸術的紙芝居を求める 一理あるテキヤ弁護論 賭博ひとすじの人生 日本一の親分は府県のお偉方？

ヤクザ者の晩年

純情型の女たち——『不良』といわれた四人の旧友……………七

甘え場所のない末娘のテツ子 初恋にやぶれて自殺未遂 愛する相手が欲しい 何もかも信じない 『自由』好きの津田やす子 戦争に夫をうばわれる 計算高く二号になる すべてが理屈ぬき 絵のモデル昌子との出会い 美術学生との恋と悲しい別れ 酒ですべてを忘れようと身を売って満州へ 光栄ある不良菅原正子 「男と女は平等だよ」

博打うち親子三代——明治・大正・昭和の変貌……………六

賭博に勝つため鶏肉屋になる パチンコで妻子を養う 便器で炊いた赤飯で戦勝祝い 京一ご自慢の義弟 浮き

沈み生活十数年 「賭博は技術の勝負だ」

ヤクザ物の位置

ヤクザ物講談——民象の不满のはけ口として……………六

ヤクザ物の全盛期から破局的大戦へ 戦後初のヒット曲
「さらば赤城よ」 江戸市民の心をとらえた俠客伝 デ
ツチあげの中で英雄・忠治誕生 報恩精神を讃える物語
農民の暗い生活に訴えてヒット 華やかな喧嘩物語「天
保水滸伝」 ヤクザ物講談の主人公たち 正義のための
復讐を教える次郎長伝 為政者が作った義人ヤクザ像

ヤクザ物演劇——沢田正二郎と長谷川伸の新鮮さ……………一〇八

再生新国劇の看板として 大正デモクラシーの気風に
受けた悲壮感 新しい忠治の誕生 剣劇ブームと共に新
国劇調が定着 ヤクザ物に転期を与えた長谷川伸 はじ
めて「沓掛時次郎」を見る 作風に共感しファンになる
林家正蔵の話に生前をしのぶ 長谷川伸の主張 長谷川
伸以前のヤクザの解釈 日本軍隊とヤクザ組織の類似点

時流に抗してヤクザ賛美を否定 その気骨こそ真の価値弱者への同情心 女性の心の美しさを見る 特異な素材とすぐれた構成力 風俗史家としても稀有の人 誇るべき国民的作家 中年でヤボな主人公たち

ヤクザ物浪花節——軍国主義の嵐の中で……………二七

講談調から義士伝、任侠伝へ 封建道徳と軍国主義におもねる 国策にそうものとして支持される 「生きて帰るな」の特攻精神 ヤクザ否定にも限界が 結局ヤクザ物は禁止される

ヤクザ物歌謡曲——不安な世情の反映……………二八

昭和十年、セキを切って氾濫 軍国歌謡の抬頭と運命の歌手上原敏 酷似するヤクザ小唄と軍国歌謡 軍国歌謡の代表作ヤクザ 小唄的兵隊節の普及 安定ムードの不安を反映して

ヤクザ物映画——目玉の松ちゃんから日米協調時代まで……………二九

目玉の松ちゃんの死と旧劇調の終焉 阪妻の登場と時代

賭博のすべて

いつも反動的役割をはたす 伝統音楽はわが道をゆく
東京落語の特異性 江戸中期、可楽によって落語は確立
ヤクザの手のとどかない所で発達

日本音楽と東京落語——ヤクザ物のない芸術……………二五二

劇の変貌 阪妻から大河内伝次郎へ インテリ好みの忠
治を作る サイレント末期の佳作 トーキョーへの発展と
ギャング物の流入 社会性を加えたギャング物 社会正
義をテーマに 社会主義国が生れギャング物も変質 駄
作続くその後のヤクザ映画 ついにヤクザを否定できず

賭博のおもしろさ——中毒症まで引き起す恐しさ……………二五八

三道楽のトップをゆく 賭博中毒患者もいる 書くこと
も忘れた小説家 一夜にして妻子も家も失った男 病の
子さえ忘れて徹夜麻雀 重態の母を抱えて 空襲警報も
のともせず 主義より体制よりまず花札 四千万円を三
年で使い果した競艇狂

サイ賭博と牌賭博——すべての賭博の二大別……………一六

いつの時代にも禁令は破られる。麻雀の普及と公営賭博の全盛。サイ賭博と牌賭博。盤双六とサイコロ。代表的サイ賭博、丁半。親分級から三下やっこまでの役割。サイ賭博の数々。競輪、競馬もサイ賭博の変形。うんすんかるたと花かるた。トランプに似た花札の遊び方。昔の花札に代る現在の麻雀。

賭博のイカサマ——勝負を決める裏の裏……………一七

勘運技の三要素。運だけでは勝ちも負けもしない。勘は長つづきしない。一逃げ、二習熟、三迫込み。客の勝負をあやつるパチンコ。ネジ加減からオートメへ。花札のキリアゲ、キリサゲ。盗み見る法、印をつける法。サイコロのイカサマ。牌の積みあげの妙。牌のすり替えと相手の牌の探知。ルールの厳守がイカサマ防止策。イカサマは必勝策でない。

繁栄するヤクザ

ヤクザの現況——ぬり変えられる勢力地図………二六

都内に四万五千人ものヤクザが 二万二千人は本格的ヤクザ どんな「仕事」をしているか 食えなくなった博徒 テキヤと博徒の商売上の接近 表向きの事業とその裏の商売

ヤクザの資金源——相手の弱みにつけ込む // 商売 // ……二六

中小企業を威した博徒一家 港湾労働者を食いものにした暴力団 出稼ぎ人をタコ部屋に閉じ込める ダフ屋専門の暴力組織 十数億円の手形バクリ ヤクザが経営する飲食店 暴力バーから押売り喫茶 当今のヤクザの隆盛ぶり

ヤクザを育てる陰の力——ボス政治家と警察検察の馴れ合い……二六

賭博と保守政治家とヤクザ 浮薄な下っ端と計算づくの 上っ端 下っ端の金銭欲がクサレ縁のもと 刑法の抜け穴とカオの馴れ合い ヤクザ風潮の保守的効用

目次
ヤクザと社会主義者

貧困と社会の矛盾——彼らの発生基盤……………三六

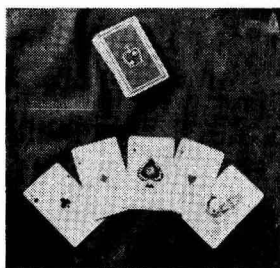
ヤクザと社会主義者の別れ道　ひ弱な「例外的」社会主義者　現代日本の貧困　大正末、昭和初年の貧困家庭　子どもたちにシワ寄せが　矛盾を感じ現存秩序に反抗する　繁栄を誇る現在に七百万人の貧窮者　待ちうける社会主義、ヤクザなど　資金源の強いヤクザが優勢

体制変革と体制維持——彼らの社会的目標……………三六

陰に陽に、権力はヤクザの味方　ヤクザは体制維持に努める　ヤクザと権力者の仲は昔から　右翼とヤクザの結びつき　あやつられる貧しい若者　右翼の連合組織関東会の綱領　右翼の意図するもの　享楽を求める人間の本性がすべて

あとがき……………三三

ヤクザの世界



ポーカー最強のヤク・5カード